

社会資本総合整備計画（防災・安全交付金）

平成29年3月17日

計画の名称	21 安全で安心な生活を実現するための街づくり（防災・安全）										重点配分対象の該当	○					
計画の期間	平成25年度～平成29年度					交付対象	山形市										
計画の目標	山形市の道路整備や道路施設である橋梁の長寿命化及び耐震化を進め、安全で安心な街づくりを推進する。																
計画の成果目標（定量的指標）	・道路施設の安全性を高めるため、橋梁の長寿命化率及び耐震化率の向上を図る。																
定量的指標の定義及び算定式										定量的指標の現況値及び目標値			備考				
										当初現況値 (H25当初)	中間目標値 (H27末)	最終目標値 (H29末)					
橋梁の長寿命化率 (橋梁の長寿命化率) = (長寿命化を実施した橋梁数) / (市道橋数)										0%	10%	17%					
橋梁の耐震化率 (橋梁の耐震化率) = (耐震化を実施した橋梁数) / (市道橋数)										31%	33%	35%					
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	1,414 百万円	A	1,414 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	D	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%					
交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H25	H26	H27	H28	H29				
21-A-5	道路	一般	山形市	直接	山形市	(2) 見崎中野目線ほか、定川橋ほか	橋梁修繕 103橋	山形市						996		策定済	
21-A-9	道路	一般	山形市	直接	山形市	(他) 菅沢替所線 大川橋	橋梁架替 L=10.4m	山形市						15		策定済	
21-A-10	道路	一般	山形市	直接	山形市	橋梁長寿命化修繕計画	対象橋梁 184橋	山形市						71		策定済	
21-A-11	道路	一般	山形市	直接	山形市	(1) 中野鮎洗線ほか、貴布祢橋ほか	橋梁修繕 255橋	山形市						234		策定済	
21-A-12	道路	一般	山形市	直接	山形市	(他) 蔵王温泉地内線の9 1004-1橋	橋梁架替 L=5.5m	山形市						2		策定済	
21-A-13	道路	一般	山形市	直接	山形市	(1) 前田双月線ほか、双月橋ほか	橋梁耐震補強 3橋	山形市						77		策定済	
21-A-14	道路	一般	山形市	直接	山形市	(他) 庚申堂千歳橋線ほか、140-2橋ほか	橋梁耐震補強 2橋	山形市						4		策定済	
21-A-15	道路	一般	山形市	直接	山形市	(1) 浜田青柳線 青柳跨線橋	橋梁耐震補強 1橋	山形市						5		策定済	
21-A-16	道路	一般	山形市	直接	山形市	(1) 山形停車場医学部線ほか、元木大橋ほか	橋梁耐震補強 8橋	山形市						10		策定済	
合計												1,414					
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H25	H26	H27	H28	H29				
合計												0					
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
									H25	H26	H27	H28	H29				
合計												0					
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
									H25	H26	H27	H28	H29				
合計												0					
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H26	H27	H28	H29	H30
配分額 (a)	668	766	542		
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	668	766	542		
前年度からの繰越額 (d)	96	217	215		
支払済額 (e)	547	769	533		
翌年度繰越額 (f)	217	215	224		
うち未契約繰越額 (g)	101	0	8		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	13.2%	0.0%	1.1%		
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由	橋梁修繕において、舗装下面の主桁損傷及び現場条件変更が確認され設計変更の必要が生じ、工法検討及び契約変更等の手続きに不測の日数を要したため。				

※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。

※ 平成28年度は、決算額が確定でき次第記載。